

アジア最高峰のバスケットボールリーグ「東アジアスーパーリーグ (EASL)」
今年 10 月に初開催する EASL 2022-23 シーズン トーナメントに
宇都宮ブレックスと琉球ゴールデンキングスが
B.LEAGUE 代表として出場決定
6 月 28 日 (火) にフィリピン・マニラにてグループ分け抽選会を開催

アジア最高峰のバスケットボールリーグ「東アジアスーパーリーグ」(East Asia Super League、以下「EASL」)は、今年 10 月から第 1 回目の開催となる EASL 2022-23 シーズンのホームアンドアウェイ形式トーナメントにおいて、「B.LEAGUE 2021-22 シーズン」年間優勝チームである宇都宮ブレックスと、準優勝チームである琉球ゴールデンキングスの出場が決定したことをお知らせします。



東アジアスーパーリーグ (EASL) は、昨年 12 月にバスケットボールの世界的な統括機関である FIBA (国際バスケットボール連盟) と FIBA アジアとの 10 年間に及ぶ独占契約を結び、東アジア初のクラブによるプロバスケットリーグを発足しました。アジア最高峰のバスケットボールリーグとして地域全体のスポーツ界活性化を目的に、大会運営からオリジナルコンテンツの制作までを行い、これまでにないユニークな体験と価値をファンと地域のステークホルダーに届けます。

今年 10 月に初開催となる EASL 2022-23 シーズンは、日本の「B.LEAGUE」、韓国の「KBL」、フィリピンの「PBA」からそれぞれ前シーズンの優勝チームと準優勝チーム、チャイニーズ・タイペイの「P. LEAGUE+」の優勝チーム、及び新たに結成された中華圏を代表する「バイエリアドラゴンズ」の合計 8 チームが参加し、2 つのグループに分かれてホームアンドアウェイ形式の総当たり戦で対戦します。各グループの上位 2 チームがファイナル 4 に進み、2023 年 3 月に賞金約 100 万ドル (約 1 億円) とアジア王者の称号を手にするべく、トーナメント形式で戦います。

クォーターファイナルから負けなしの 6 連勝で日本一を成し遂げる戦いぶりを見せた宇都宮ブレックスと、西地区から初のファイナル進出を果たし B.LEAGUE に新たな一幕を刻んだ琉球ゴールデンキングスが、この度舞台をアジアに移し熱戦を繰り広げます。

トーナメントの開催に先駆けて、2022年6月28日（火）にフィリピン・マニラにて、EASL 2022-23シーズンのグループ分け抽選会を開催します。各リーグの代表者が集結し、コイントスにて組み合わせを決定します。

■B.LEAGUE 島田慎二チェアマン コメント

「東アジアスーパーリーグ 2022-23 シーズンに、B.LEAGUE 屈指の実力と人気を持つ宇都宮ブレックスと琉球ゴールデンキングスが参加します。両クラブのアジアでの活躍を期待すると共に、ホームゲームにて日本のバスケの盛り上がりと、ファンの方々の両クラブへの熱い応援をアジア中にお届けできることを楽しみにしております。」

■EASL CEO マット・バイヤー コメント

「東アジアスーパーリーグは、B.LEAGUE の 2021-22 シーズンで優勝した宇都宮ブレックスと準優勝した琉球ゴールデンキングスを迎え、ホーム&アウェイ形式による第 1 回目のシーズンを開催することを決定しました。東アジアのバスケットボールの拠点として、東アジアスーパーリーグは B.LEAGUE と協力し、アジア地域における最高峰のリーグに参加するトップ選手たちを集め、スポーツの発展に貢献できることを嬉しく思っています。」

B.LEAGUE の出場クラブの発表と併せて、本大会のために結成された中華圏のトップ選手が集結する「バイエリアドラゴンズ」の出場登録選手の一部が決定しました。香港にて 5 度の優勝経験を持つダンカン・リード選手や、中国代表チームのスター選手であるリュウ・チュアンシン選手などの名選手が名を連ね、その他有力選手については今後発表予定です。オーストラリア・ナショナル・バスケットボール・リーグ（NBL）で 6 度の優勝を誇り、オーストラリア代表チームを史上初のオリンピックメダル（2020 年東京オリンピック・銅メダル）に導いたブライアン・ゴージャン氏率いるバイエリアドラゴンズは、マニラを一時的な本拠地とし、日本とマニラにて、日本トップレベルのチームとアジア最高峰の決戦を繰り広げます。

■東アジアスーパーリーグ（EASL）について

2016 年に設立された東アジアスーパーリーグ（EASL）のミッションは、アジアのプレミアバスケットボールリーグとして地域のスポーツを盛り上げていくことです。EASL は、バスケットボールの世界統括団体である FIBA と 10 年間の独占契約を結び、FIBA Asia の承認を得て運営を行う、地域初のプロバスケットボールリーグです。日本の「B.LEAGUE」、韓国の「KBL」、フィリピンの「PBA」からそれぞれ前シーズンの優勝チームと準優勝チームが出場、また中華圏からは、新たに結成された「バイエリアドラゴンズ」とチャイニーズ・タイペイの「P. LEAGUE+」の優勝チームが出場します。8 チームが 4 チームずつの 2 つのグループに分かれて総当たり戦形式で対戦します。各チームは、2022 年 10 月から 2023 年 2 月までのグループステージ中に、ホームアンドアウェイで 6 試合ずつ戦い、毎回 水曜日の夜に EASL グループステージの合計 24 試合が行われます。各グループの上位 2 チームがファイナル 4 に進み、2023 年 3 月に EASL 初優勝を目指し、トーナメント形式で戦います。

EASL は、香港に本社を置き、広州、マカオ、マニラ、ソウル、上海、台北、東京に拠点を置いています。東アジアスーパーリーグに関する情報は www.easl.basketball をご覧ください。

■「バイエリアドラゴンズ」 出場登録選手一覧

選手名	ポジション	生まれた年	身長	体重	旧所属チーム	受賞歴・記録
リュウ・チュアンシン (Liu Chuanxing)	C	1997年	225cm	130kg	ブリスベン・ブレッツ (オーストラリア・NBL)	中華人民共和国代表選手
スコッティ・ユーイング (Scotty Ewing)	G	1991年	175cm	73kg	ウルフ・ウォリアーズ (マカオ・ABL)	元香港得点王
コービー・ラム (Kobey Lam)	G	2000年	191cm	77kg	チャールストン大学 (NCAA)	NCAA D1 選手
チャオ・ウェンハン (Qiao Wenhan)	F	1991年	195	92	山東ヒーローズ (中国・CBA)	元 NBL (中国) MVP 得点王
ダンカン・リード (Duncan Reid)	F/C	1989年	206cm	118kg	サウスチャイナ (香港)	香港 A1 ディビジョン 5 度優勝
シ・クン (Si Kun)	F	1995年	196cm	92kg	山東ヒーローズ (中国・CBA)	元 NBL (中国) チャンピオン、 ダンクコンテストチャンピオン、 オールスター出場
ソン・ジャンファ (Song Jianhua)	F	1991年	199cm	96kg	香港ウルフ (中国・NBL)	南京モンキーキングス (中国・ CBA) 前キャプテン
グレン・ヤン (Glen Yang)	G	1996年	189cm	82kg	サウスチャイナ (香港)	香港 A1 ディビジョン 3 度優勝
ジャン・ジユアン (Zhang Zhiyuan)	C	1999年	211cm	110kg	武漢体育学院	3x3 中華人民共和国代表選手、 中華人民共和国ユース代表選手
チョン・キロン (Zheng Qilong)	F	1996年	202cm	90kg	江蘇ドラゴンズ (中国・CBA)	中国・CUBA (中国大学バスケット ボール協会) チャンピオン